

## 平成24年度 第2回道徳資料収集

欄外に☆印のある資料は、この冊子に収集されています。○印の資料は、送付されたものを資料係（小豆坂小 鶴生）が保管しています。

無印のものについては、実践された先生に直接お問い合わせください。

資料番号	学校・学校番号	資料名(指導内容)	資料の出典	実践学年	実践者
H24-7	小2・根石	「ぼくのはなさいたけど・・・」 2-(2) 思いやり、親切	絵本『ぼくのはなさいたけど・・・』 山崎陽子・作 末崎 成樹・絵 金の星社	小1	大木 満子
		<p>あらすじ・小熊のトトは、お母さんの誕生日に大きな花束をプレゼントしようと、花の種をまいてこっそり世話をします。やっと咲き始めると、次々に花が摘まれていきます。隠れて犯人を待っていると、モグラの小さな女の子モイラが、病気のお母さんのために摘んでいたのです。誕生日の日、たった2本になってしまった花のうち、1本をモイラのために残し、たった1本の花をお母さんにプレゼントします。たった1本しかあげられなくて泣き出すトトに、「二人のお母さんが喜んだんですもの」とお母さんは優しく抱きしめるのです。</p> <p>-----</p> <p>発問①お花がたくさん咲き始めたとき</p> <p>②モイラの話聞いたとき</p> <p>③「1つのこしておくよ」と言って、家へ帰るとき</p> <p>④お母さんがとても喜んでくれたとき</p> <p>-----</p> <p>コメント・この資料は、東京書籍の道徳の副読本にありますが、読み聞かせで資料提示したかったので、絵本を使用しました。お話が感動的なので、お話に浸るには絵本の方がよいと思いますが、時間を考えると短く編集された資料を使ってもよかったかもしれません。発問②で役割演技を入れて中心発問としました。発問③の場面でトトは、自己犠牲の心情でモイラに花を残す選択をしています。絵本には、その後、寂しそうに家に帰る場面がありました。それを見せて発問④へつなげました。1年生の後半にお勧めです。</p>			
H24-8	小15・福岡	「福岡の関取 葵龍喜一郎」 1-(5) 個性の伸長	福岡町史	小3	仁藤 初子
		<p>あらすじ・家が貧しかった喜一郎は、奉公に出されるが、そこの主人から相撲取りになることをすすめられる。体が小さく自信はなかったが、家族のために強くなってお金を稼ぎたいと努力する。故郷での巡業では、負けてしまったものの、心は晴れやかだった。</p> <p>-----</p> <p>発問①相撲取りになることを勧められた喜一郎の気持ちを考えよう。</p> <p>②親方にけいこをやめるようになるまで練習する喜一郎の気持ちを考えよう。</p> <p>③巡業で負けてしまったときの喜一郎の気持ちを考えよう。</p> <p>-----</p> <p>コメント・地元の人ということで興味が出ないようだ。強くなると、お金がかせげるところが、小学生にはそぐわない気はする。</p>			

H24-9	小26・奥殿	寺本明日香選手から学ぶ 1-(2) 勤勉・努力	DVDによる資料提示	小4	川端 由理枝
	<p>あらすじ・体操選手寺本明日香さんの姿から、努力して生活レベルの目標を高くもつ心情を育む。辛くても努力して、自分の苦労は苦労じゃないということ学ぶ。</p> <p>発問①寺本さんは、努力していますか。</p> <p>②自分と比べて、どうですか。</p> <p>コメントなし</p>				
H24-10	小26・奥殿	オール1先生から学んだことをクラスに広げよう 1-(2) 勤勉・努力	『オール1の落ちこぼれ、教師になる』 宮本 延春・文 角川文庫	小4	川端 由理枝
	<p>あらすじ・なし</p> <p>発問①オール1先生の人生で、つらいだろうと感じるとき</p> <p>②自分の気持ちの変化と影響されたオール1先生のできごとについて発表しよう。</p> <p>③友達の気付きの中で、視点や思いのすばらしさを発表しよう。</p> <p>コメントなし</p>				
H24-11	小26・奥殿	かつくん どうしてボクだけしかくいの？	『かつくん どうしてボクだけしかくいの？』 クリスチャン メルベユ作、ジョス・ゴフィン絵、 乙武洋匡訳	小1	石垣 沙也
あらすじ・発問・コメント・・・教育研究大会24年度学年別低学年(1年)に記載した物です。					
H24-12	小43・豊富	「いのちをいただく」 3-(1) 生命尊重	『いのちをいただく』絵本 絵本 内田美智子・文 西日本新聞社	小3	竹内 謙作
	あらすじ・発問・コメントなし				

H24-13	小43・豊富	「長なわ大会に向けて」 2-(3)信頼・友情	自作教材	小3	竹内 謙作	資料
	<p>あらすじ・長なわ大会が近づくにつれてクラス全体が盛り上がっている中、えみこはどんどん気が重くなっている。長なわがどうしても苦手で、いつもひっかかってみんなに迷惑をかけてしまう。そんなえみこは、「本番、休んでしまおうかな」と思い始める。さて、そんなえみこのことをどう考えたらよいだろうか。</p> <p>発問①こんなえみこのことをみんなは、どう思いますか。</p> <p>②「本番やすんでも仕方ない」「休むべきじゃない」あなたの考えは、どちらですか。</p> <p>③長なわがどうしても苦手なえみこに、ただ「がんばれ」というだけでは、えみこがますますつらくなるだけです。えみこが生き生きと参加できるように、何かしてあげられることは何でしょうか。</p> <p>コメント・子供たちにとって、身近な話題だけに、考えやすいテーマである。話し合い前半では、休むべきじゃない、本番に向けてがんばるべき、という意見が大半を占めるだろうが、後半で、えみこの気持ちを考え、クラスメイトとして何ができるかという視点で考えさせることによって、さらに話し合いが深まり、「信頼・友情」のテーマに近づくことができるであろう。</p>					
H24-14	小45・宮崎	「相手の気持ちを考えて」 2-(3)信頼・友情	『オタマジャクシのうんどうかい』 阿部夏丸・作 村上康成・絵 講談社	小3	石川 豊和	指導案
	<p>あらすじ・主人公「タマ」はしっぽが半分しかなく、かけっこはいつもビリである。運動会本番を前に、仲間たちが「ここまででいいのか」と、タマのためにいろいろ方法を考える。結局、仲間たちが考えた方法は、「半分の距離からスタートすること」になった。そして、迎えた運動会当日。しかし、みんながスタートしても、タマは泳ぎ出さない。いったいなぜか……。</p> <p>発問①タマのことを心配した仲間が考えた5つの方法について考えよう。</p> <p>②タマは、どうしてみんなが来るまで泳ぎ出さなかったのか、考えよう。</p> <p>③タマの取った行動と気持ちを考えよう。</p> <p>コメント・足が遅い子を“特別扱い”することはよいことか。授業内容が子供たちにとっても分かりやすかったので、全員が真剣に5つの考えについて考えることができた。本の中身をスキャナーでとり、パワーポイントで提示したのも良かった。高学年であれば、「タマが自分の正直な気持ちを言えるためには、みんながどうすればよかったのだろう」と言って発問に発展させて考えることもできそうだった。</p>					

<b>H24-</b> <b>15</b>	<b>小46・形埜</b>	<b>「友達の家で」2-(1)礼儀</b>	<b>『小学生のあゆみ3年』青葉出版</b>	<b>小3</b>	<b>有馬 基</b>
<p>あらすじ・主人公あき子は、友達であるきみえを家に招き、共に絵地図作りをしようとするが、ついにテレビに夢中になってしまい、とりかかりが遅れてしまう。自分のしたことしか考えていないきみえとそのきみえの態度を見逃してしまったあき子の行動によって、あき子の家族に迷惑をかけてしまう話。</p> <p>発問①5時過ぎて絵地図にとりかかったときのあき子の気持ちを考えよう。</p> <p>②きみえが「だいじょうぶよ。うちはいつも夕食が遅いから。」と言ったときのあき子さんの気持ちを考えよう。</p> <p>③食事がおいしくなかったときのあき子さんの気持ちを考えよう。(主発問)</p> <p>コメント・今年度中学年の代表授業としての実践です。2-(1)礼儀を主としての授業ですが、1-(1)節度にもあてはまる内容となっています。</p>					
<b>H24-</b> <b>16</b>	<b>小46・形埜</b>	<b>「げんぞうじいさん」2-(2)思いやり・親切、 2-(4)尊敬・感謝</b>	<b>『モラルジレンマ資料と授業展開 小学校編第2集』荒木紀幸編著 明治図書</b>	<b>小3</b>	<b>有馬 基</b>
<p>あらすじ・げんぞうじいさんに教えてもらい、竹馬を作り、竹馬に乗れるようになったこうき君は、元気なげんぞうじいさんにとっても感心した。その一年後、リヤカーをたいへんそうに引っぱるげんぞうじいさんを見て、助けるべきかどうか葛藤するこうき君の話。</p> <p>発問①こうき君はげんぞうじいさんを助けるべきでしょうか。</p> <p>流れ(自分の考えをワークシートに書く。話し合う。自分の判断をワークシートに書き、発表する。)</p> <p>コメント・モラルジレンマの資料です。気を付けながら授業をしていかないと、道徳的価値を高めるのではなく、「どうしたらげんぞうじいさんを怒らせずに手伝えるか」という方法を考える方向へ子どもの考えが向いていってしまいます。</p>					
<b>H24-</b> <b>17</b>	<b>小46・形埜</b>	<b>「紙飛行機大会」 4-(1)規則尊重 2-(3)友情</b>	<b>『モラルジレンマ資料と授業展開 小学校編第2集』荒木紀幸編著 明治図書</b>	<b>小3</b>	<b>有馬 基</b>
<p>あらすじ・2枚の色紙で紙飛行機作りに挑戦した動物たち。タヌキのタッチが1枚の色紙をあげると言い出したことにより、他の動物たちが様々な理由をつけながら、タッチから色紙をもらおうとする。タッチは、友達を大切にすることとルールを守って公平にすることの間に、道徳的な価値の葛藤をおこしてしまうという話。</p> <p>発問①この後、タッチはどうすべきでしょうか。</p> <p>(自分の考えをワークシートに書き出す→話し合う→最終的な自分の判断をワークシートに書き、発表する。)</p> <p>コメント・モラルジレンマの資料です。選択肢に「誰にもあげない」を挙げてしまったため、ほとんどの子がその選択肢に流れてしまいました。今年度指導員訪問で行った授業です。</p>					

4-18	小46・形埜	ともだちや 2-(3)友情	絵本『ともだちや』 内田麟太郎・作 校矢なな・絵 偕成社	小1	真木三重子
<p>あらすじ・ともだちやをはじめたキツネは、さみしい人の友達になってお金をもらおうと考える。クマに呼ばれて嫌いなイチゴを食べさせられ痛むお腹をおさえながらお金をもらう。今度は、オオカミに呼ばれたトランプの相手をする。代金を請求したキツネにオオカミは、友達として呼んだことを知り、本当の友達を知る。</p>					
<p>発問①どんな友達が大切か。どんな友達がほしいか。</p> <p>②オオカミに「それがほんとうの友達か」と言われて、キツネはどんなことを考えたか。友達からお金をとるのか。</p> <p>③友達と分かりあえた経験はあるか。そのとき、どんな気持ちだったか。</p>					
<p>コメント・本当の友達は、単に一緒に遊ぶとか家が近いとかの関係でなく、困ったとき助け合ったりして、嫌なことでも言ってくれる人が信頼関係にある人のことであるということを知らせたことができ、思いやりの心を育てる指導に十分役立った。</p>					

H24-19	中4・竜海	『カーくんと森の仲間たち』 2-(2)人間愛、思いやり	『カーくんと森の仲間たち』絵・夢ら丘 実果 文・吉沢 誠ワイズ・アウル発行所	中1	山崎 留美
<p>あらすじ・草や木がなく、石ばかりの町に引っ越してきた一人暮らしのおじいさん。女の子といっしょに町に花のたねをまき続けることにした。やがて、おじいさんは、なくなるが、町の人が花のたねをまくようになる。</p>					
<p>発問①種をまいているとき、おじいさんはどんな気持ちだっただろう。</p> <p>②町の人たちは、どんな気持ちで種をまいていただろう。</p> <p>③羽小学区にも町のために行っている人たちは、どんな気持ちだろう。</p>					
<p>コメント・少し長めの物語であるが、場面ごとの出来事がはっきりしており、児童の内容をしっかりとらえることができていた。人々の努力によって町が大きく変わる内容であったため、「郷土愛」を育むには最適だと感じた。</p>					

H24-20	中6・城北	インターネットの向こう側 4-(3)正義、公正・公平、差別や偏見のない社会実現	「インターネットの向こう側」 法務省	中3	森本 英文
<p>あらすじ・中学生・高校生がインターネットを利用する際に生じる様々な問題(なりすまし、ネットいじめ等)を、専門家による解説を通じて人権的視点から考え、理解してもらうことが目的としたドラマです。</p>					
<p>発問①ネットいじめを受けた主人公は、どんな気持ちだっただろうか。</p> <p>②いじめを見つけたら、あなたはどうしますか。</p>					

コメント・インターネットや携帯電話を通じていじめについて取り上げられており、インターネットの危険性や、いじめ・人権について考えさせられている教材です。DVDとVHSの2種類があり、シビックセンターにある名古屋法務局の事務所で借りることができます。

H24- 21	中15・新香山	「リオの伝説スピーチ」 4- (10) 国際理解・人類愛	『あなたが世界を変える日』セブアン・カリス＝スズキ著 ナマケモノ倶楽部編・訳 学陽書房	中3	長瀧 裕二
	あらすじ・12歳のとき、地球環境サミットでスピーチをしたセブアン・スズキ。そのスピーチの内容は、大人を圧倒させる感動的なものだった。地球の未来を真剣に考えるセブアン・スズキのスピーチから自分でもできることをしていこうという思いをもたせたい。				
	発問①鈴木さんの気持ちが強く伝わってきたのは、どこですか。また、どんな気持ちが伝わってきましたか。				
コメント・実際にスズキさんがスピーチをしている映像を見ながらスピーチを聞かせました。自分たちより年下の少女がこれほどのスピーチをしていることに圧倒されました。環境問題に対して何らかの行動をしていきたいという思いをもつ生徒がいる一方で、スズキさんは何もしていないという意見もあった。次時で10年後のスズキさんの活動の様子を見せることで、考えに変化があった。様々な環境問題の知識がないと深まらないですが、価値の高い教材です。					

H24- 22	中・新香山	「サルと人間」 3- (2) 自然愛、4- (2) 社会連携の精神	自作教材	中1	山田 奈奈
	あらすじ・額田町(現岡崎市)では、年々、畑の作物をニホンザルが荒らすようになった。そこで、わたしは、ニホンザルの生態について調査することになる。被害にあった農家の方から話を聞き、その帰りに捕えられたサルの姿を見た。被害者の思いと想像以上に悲惨なサルの姿に「わたし」はゆれる。				
	発問①わたしは、どうするべきか。意見を発表してください。 ②サルが畑を荒らすようになった原因は、何だろう。				
コメント・獣害について学習をすすめている子供たちは、サルに感情移入をする子が多かった。動物と人間の共存について考えやすい教材だと思われる。ただサルが身近にいない学校の生徒で考えさせると、また違った考えが出てきて、話し合いが深まるのではないかと思われる。					

H24- 23	中19・額田	「きみはほんとうにステキだね」 2- (3) 友情の尊さ	絵本『きみはほんとうにステキだね』 官西達也・作絵 ポプラ社	中2	林 正彦
	あらすじ・乱暴者で意地悪な主人公が心許せる友人と出会い触れ合うことで、信頼の大切さに気付く姿を描いている。そして、読み手にこれから真の友情を築いていこうとする姿を考えさせる内容である。				

発問①黒の恐竜が嘘を言ったときの気持ちを考えましょう。

②「きみはほんとうにステキだね」と言われて、黒の恐竜はどんな気持ちになったでしょうか。

③最後に、黒の恐竜がどんな気持ちでほんとうの自分のことを言ったのでしょうか。

コメント・中2の生徒に絵本を与えることに抵抗があったが、内容は深く考えられるものなので、いろいろな意見を引き出すことができた。また、導入で読み聞かせをすることで、絵本の世界に引き込むことができた。中学生でも道徳で絵本を利用することも有効であることが分かった。

資料  
指導案